

なめりかわ

No.204

令和3年11月1日発行

滑川市議会

☎(076) 475-2111

E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

市議会だより

(タイトル：滑川高校2年 元起一陽さんの作品)



子どもサミットの事前研修として、議場見学が行われました。
今年度の子どもサミットは11月22日に行われる予定です。

令和3年9月定例会一覧

開会		9月2日	閉会		9月27日	会期26日間	
○本会議(主な内容)		2日	会期の決定		提案理由説明	補足説明	
9日		代表質問・一般質問	10日		一般質問	議案の委員会付託	
27日		委員長報告・質疑・討論・採決	追加提案		提案理由説明	閉会中の継続審査	
○委員会		10・17・27日	議会運営委員会		13日	総務文教消防委員会	
15・16・17・22日		決算特別委員会	14日		産業厚生建設委員会		
予算(原案可決)		3件	条例(原案可決)		3件	その他(原案認定)	
その他(原案可決)		7件	その他(原案可決)		3件	人事(原案同意)	
人事(異議なしと意見)		3件	議員提出(原案可決)		2件	議員提出(原案否決)	
議員提出(原案可決)		1件	議員提出(原案否決)		2件	合計	
						24件	

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。

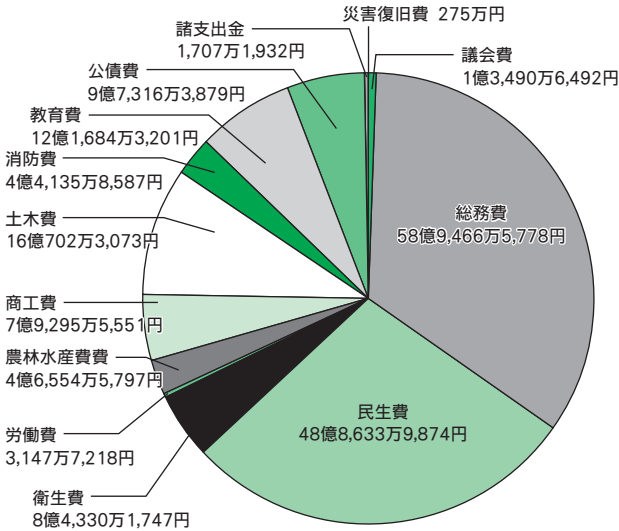


なめりかわ 市議会だより

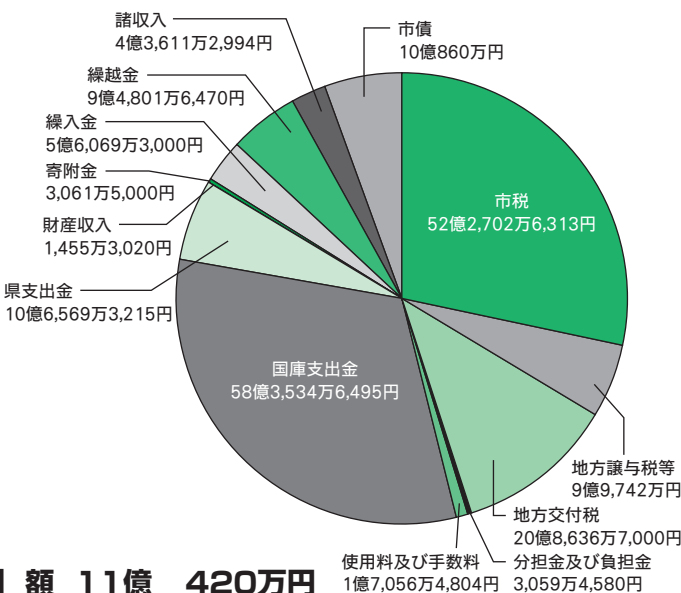
令和2年度の滑川市のお金の使われ方は？ ～市の決算について審査を行いました～

一般会計

歳出総額 173億740万円



歳入総額 184億1,160万円



歳入歳出差引額 11億420万円
翌年度へ繰越すべき財源 7,422万円
実質収支額 10億2,997万円

令和2年度の滑川市の予算の使われ方、実施した事業の成果等について、特に、予算額に対し決算額が少ないもの（不用額が多いもの）や、新規事業、前年度に比べて増減の大きいものを中心に、必要な場合は資料の提出を求めながら審査を行いました。また、委員会最終日には、フットボールセンター富山（日医工スポー

◎決算特別委員会委員
委員長 尾崎照雄
副委員長 中川 勲
委員 大浦豊貴 委員 脇坂章夫
委員 青山幸生 委員 角川真人
委員 竹原正人 委員 古沢利之
委員 浦田竹昭 委員 高橋久光
原則、全議員で決算特別委員会を組織しています。（ただし、当該年度の議長及び議会選出の監査委員は委員になりません。）

令和3年9月定例会において、決算特別委員会が設置され、令和2年度一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査が行われました。決算特別委員会の委員は次のとおりです。

特別会計

会計名	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	27億8,893万円	27億749万円
後期高齢者医療事業	8億6,463万円	8億5,368万円
介護保険事業 保険事業	29億6,948万円	29億3,486万円
サービス事業	1,191万円	1,191万円
工業団地造成事業	1億2,903万円	1億2,903万円

企業会計

事業	収入済額	支出済額
水道事業		
収益的収支	4億5,728万円	3億8,336万円
資本的収支	5,134万円	2億6,029万円
下水道事業		
収益的収支	14億3,523万円	12億2,714万円
資本的収支	13億5,251万円	20億633万円



フットボールセンター富山現地視察

ツアカデミー）の人工芝の状態や田中小学校でのタブレットを活用した授業の様子（の現地視察も行いました）。

適切に予算編成されたい。

決算については、議決予算に基づいて適正に執行され、計画された事業は概ね所期の成果を挙げているとともに、行政効果も達成されたものと認め、決算特別委員会に付託された9議案については、賛成全員により認定または可決すべきものと決しました。

審査終了後、今後改善を求める事項として、次のとおり、歳入2項目、歳出15項目を市に提出しました。

〔歳入〕

1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から、市税等の減収施設利用者の減少など、歳入全般にわたり減収が見込まれる。あらゆる歳入の確保に努められたい。

2 市税（住民税・固定資産税・軽自動車税等）、国民健康保険税、介護保険料、上下水道料、市営住宅・定住促進住宅家賃等については、不納欠損とならぬよう、滞納額が小さなうちから早期徴収対応に努められたい。特に、悪質な案件については、負担の公平性の観点から、一層厳しい対応策を検討されたい。

〔歳出〕

1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で財源不足が予想されることから、事業効果を見極め、

とのないよう努められたい。

7 今後の新型コロナウイルス対策について、国、県の助成のほか、市単独予算の創出も考えながら、本当に困っている市民、企業への支援策について進められたい。

8 みのわテニス村周辺の環境整備について、公園緑地課所管の市内公園施設同様、適切に管理されたい。

9 コロナ禍のもと、がん検診等の受診率が低下している。感染対策に注意しながら、受診率の向上に努められたい。

10 コミュニティバス「のる my car」について、高校生等のニーズ把握をし、通学時に利用してもらえようとする等、公共交通に期待する市民ニーズを的確に捉え、バスの小型化・デマンド方式の導入の検討・時間・路線・通勤通学・通院等の更なる利便性向上に努め、病院や買い物など目的に特化したコースなど、これまでになかった取り組みも含めて、効果的な運営となるよう検討されたい。

11 マイナンバーカードの取得について、今後、身分証明や保険証等として、行政手続きに必要不可欠

なカードとなることから、国の目標である令和4年度まで取得率100%を目指して、更に積極的な取得促進施策を検討されたい。

12 農林水産業等の第一次産業の活性化のため、なり手不足の解消とブランド化に努められたい。

13 子どもたちの学習環境が大きく変化することが予想される。小中学校に整備されたタブレットや図書等を効果的に活用し、子どもたちの一層の学習環境の向上に努められたい。



田中小学校現地視察

14 郷土芸能や伝統文化に触れる機会が少なくなっている。ケーブルテレビ等各種媒体を活用し、新たな担い手の育成、活性化につながるよう市民協働・連携の強化に努められたい。

◆令和3年9月定例会

○令和3年度一般会計補正予算(第3号)
(2億2,301万8千円)

ほか、人事案件を含む市長提出議案すべてを可決または同意

令和2年度一般会計、特別会計及び企業会計決算を認定
議員提出議案「コロナ禍による厳しい財政状況に対し地方
税財源の充実を求める意見書」等を可決

9月定例会

15

消防団員の充足について、一層のPRや報酬の見直しを行うなど、人員の確保に努め、自治会・企業・団体等にも協力を呼びかけるとともに各分団の配置、並びに各地区の消防団員の定数の見直しを検討されたい。

本会議

◇9月2日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、予算及び条例等の市長提出議案16件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

その後、本会議を再開し、決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行いました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の27日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び決算特別委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案16件については一括採決の結果、各常任委員長及び決算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決または認定されました。

次に、市長から人事案件として追

加提案された、滑川市教育委員会の教育長に伊東眞氏(吾妻町)、滑川市教育委員会の委員に道音博昭氏(幸町)の任命に同意、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に山本隆氏(高月町)の選任に同意、人権擁護委員として小沢政商氏(荒町)、山岡美恵子氏(北野)の推薦に意義なしと意見しました。

その後、議員提出議案として次の3議案が提出され、「コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書」を賛成少数で否決、「米の需給と価格の安定を求める意見書」を賛成多数で可決、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を賛成全員で可決されました。

最後に閉会中の継続審査を議決して、9月定例会を閉会といたしました。



常任委員会での審査 (主な質疑等)

各常任委員会への付託
案件はP12・13をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された4議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和3年度滑川市一般会計補正予算(第3号)について

消防分団施設整備事業費において、安全帽及び雨具は分団員全員に支給するの。その仕様はどのようなものか。また今後、他に整備予定はあるのか。

答 今回は雨具・レインコートを200着及び安全帽・ヘルメットを200個購入し、令和元年度に購入したレインコート40着、ヘルメット40個とあわせてそれぞれ240名分となり、分団員実員295名の内8割程度を充足するものである。レインコートはオレンジ色で上衣はフード付きの半コートでプリント名入り、ヘルメットは白色のものである。また今年度の他の整備予定はない。

問 保育所等施設整備補助金、やなぎはら保育園厨房改修工事に対する補助金について、中部厚生センターより指摘を受けて改修内容の見直しとのことだが、どのような指摘であ

ったか。

【答】当初計画では厨房内の建具の変更と床乾式化への改修であり、計画図等を中部厚生センターに確認したところ、厨房の入り口に手洗い場を含む身支度を整えるための前室を設けること、厨房内の動線を見直しすることなどのアドバイスを受け、法人で検討された結果、追加改修する旨を決定され、工費が増えたことによる補助額の増額である。

産業厚生建設委員会

付託された４議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和３年度滑川市一般会計補正予算（第３号）について

【問】PCR検査助成事業の対象者がわかりにくい。

【答】基本的には希望される方全員と考えており、不安がある方すべてを対象とする。

【問】PCR検査助成事業の市民への周知は、どのようにするのか。

【答】チラシ等配布することとし、合わせて感染予防対策の徹底を行う。

第2回臨時会

令和３年第２回市議会臨時会は、会期を８月19日の１日間と決めた後に、議案第41号「工事請負契約の締結について」の市長提出議案１件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、常任委員長から付託議案の審査結果の報告がありました。

採決の結果、議案第41号については、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第２回臨時会を閉会としました。



3年8月 日誌

1日	富山県総合防災訓練	8日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会
5日	富山県市議会議長会 臨時総会、県知事との懇談会	14日	議会報編集委員会
6日	富山県東部消防組合議会 （高岡市） 提出案件議員説明会 （魚津市）	21日	全国高速自動車道市議会 協議会（東京都）
10日	定例議員協議会 議員定数及び報酬検討 特別委員会	25日	産業厚生建設委員会協議会 富山地区広域圏事務組合 議会議員協議会（立山町）
11日	朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会通常 総会（魚津市）	28日	滑川中新川地区広域情報 事務組合議会定例会
12日	議会運営委員会 同盟会総会（魚津市）		
18日	富山県東部消防組合議会議員協議会、全員協議会、 本会議（魚津市）		
19日	全員協議会 第2回臨時会		
25日	総務文教消防委員会協議会 産業厚生建設委員会協議会		
26日	議会運営委員会 定例議員協議会		
30日			
9月			
2日、27日	9月定例会		
27日	議会報編集委員会		

代表質問

9月定例会では12名の議員が質問を行い、44項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのをご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



- 1 新型コロナウイルス 感染拡大防止対策について
- 2 通学路の安全対策について
- 3 市民生活について

(会派＝会派自民) 中川 勲 議員



Q ワクチン接種は、今後若い世代に移行するが、どう接種率を向上させるのか。

A 石川副市長 具体的な取り組みとしては、平日及び土曜日の日中には、医療機関等による個別接種、日曜日には集団接種、そして新たに平日の夕方、夜間に実施するイブニング接種で、就業者や学生が接種しやすい機会を提供する。

Q 若い世代においてワクチン接種をしないという人は、SNSを通して批判的な情報が拡散していることを気にして接種をためらっている。

A 石川副市長 8月以後の若い人たちの感染拡大に伴い、ワクチン接種の重症化予防効果の報道が進んでいる中で、本市のイブニング接種の予約者のうち60%を30歳以下が占めている状況で、若い人たちの考え方が変わってきている。

Q 保育所、幼稚園等で感染予防対策を指導強化のもとに行われていると思うが。

A 伊東教育長 施設内では十分な感染予防対策を行い、マスクの着用や手洗い、うがいの励行など、職員の基本的な対策を徹底すると

ともに、園児に対しても適切な指導を行い、感染リスクを低減するよう努めている。保育士へのワクチン接種は優先して実施した。

Q 市道北野浜四ツ屋線を見通し、歩道を新設すべきと思うが。

A 岩城建設部長 現在、市道中野島坪川線や有金上島線などで通学路の歩道整備を実施している。市道北野浜四ツ屋線の歩道整備は、これらの整備の進捗状況を見極め、整備について検討する。

Q 児童・生徒を不審者から守るとともに、交通安全を呼びかける青パトによる安全パトロールの強化を各校区で実施できないか。また青パトに対する補助制度も充実すべきでは。

A 網谷産業民生部長 現在、青パトを登録し、自主防犯パトロール活動を行っているのは、北加積地区と浜加積地区のみで、登録を希望される地区があれば手続きの支援を行う。補助は県と市が交付している。防犯活動の支援を充実する。

代表質問



- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 放課後児童クラブについて
- 3 加齢性難聴について

(会派＝日本共産党議員団) 古沢利之 議員



Q 子どもたちへの感染対策はどう取り組むのか。

A 上田教育委員会事務局長 これまで保育園等には、衛生用品や備品購入への補助、小中学校へは自動水栓、消毒薬など消耗品、備品などの購入に財政支援してきた。教職員、支援員などは集団接種に優先枠を設け、早期の接種ができるよう支援してきた。

Q ワクチン接種対象外の12歳未満の子への支援はどうするのか。

A 網谷産業民生部長 市内でも10歳未満の感染者が4人確認されている。12歳以下の感染予防対策が不可欠である。主に家庭内感染とされ、若い親世代のワクチン接種が重要になっている。

Q 放課後児童クラブの支援員の研修の進捗はどうか。

A 上田教育委員会事務局長 市内11の放課後児童クラブの支援員、補助員76人中、49人が支援員の資格を取得している。今後受講を進める。

Q 支援員の時給は880円、10月から最低賃金が87円になる。見直し引き上げるべきだ。

A 上田教育委員会事務局長 支援員の処遇改善は重要と認識しており、検討していきたい。

Q 加齢性難聴は早めの対策が必要とされている。補聴器購入への助成は検討されているか。

A 網谷産業民生部長 障害者の区分では、中度・軽度では対象にならない。

Q 障害者への補装具助成対象は、聴力70デシベルで、高度難聴だ。WHOは40デシベル程度からの補聴器使用を推奨している。

A 網谷産業民生部長 国でも調査研究しており、何らかの対策が示されると思う。

Q 講演会、会議などで活用される集団補聴システムの見解はどうか。

A 網谷産業民生部長 磁気ループなど話者につけたマイクから、補聴器や耳に直接音声を伝えるものと認識している。福祉介護課と包括支援センターに卓上型を設置している。他の施設への設置は施設側と協議して検討したい。

その他質問

・防災対策について

一般質問



4 3 2 1

東加積小学校の教育環境整備について
小規模多機能自治制度導入について
公共施設の在り方について
滑川市自殺対策計画の関連について



浦田 竹昭 議員

Q 複式学級回避として、市採教員配置の検討について見解を問う。

A 椎名学務課長 担任以外に通級指導教員等を配置し、きめ細かな教育指導支援をしており、市採教員の配置は考えていない。

Q コミュニティ・スクール制度導入の検討について見解を問う。

A 椎名学務課長 地域住民の皆さんに活動推進員になっていただき、地域学校協働活動を推進することが大切と考えている。

Q 小学校周辺整備として、駐車場の設置整備の取り組み状況、進捗について見解を問う。

A 椎名学務課長 適地を選定し、地権者と交渉をしており、同意が得られれば用地買収手続きを進めることにしている。

Q 小学校区単位での地域自主組織としての小規模多機能自治制度導入の検討について見解を問う。

A 相沢企画政策課主幹 地域の皆さんの機運の醸成を見ながら考えていきたい。

Q みのわテニス村のキャンプ場、バーベキュー広場の管理・運営・整備について見解を問う。

A 上田教育委員会事務局長 東部山

麓道路整備の進捗を注視し、維持管理、整備について検討する。

Q 東福寺野自然公園の青雲閣の施設整備の検討状況について見解を問う。

A 地崎生涯学習課長 庁内検討委員会、管理運営、施設規模、設備等、様々な角度から検討しているところである。

Q 市民会館大ホールの建て替えの今後の方針について見解を問う。

A 相沢企画政策課主幹 建設費用として30億円程度を要することから、財源の十分な確保が課題であると考えている。

Q 当市の自殺者の推移、並びに自殺対策施策について見解を問う。

A 石川福祉介護課長 令和3年度7月末で、5名となっており、グートキーパーの養成研修に重点をおいている。

Q 当市職員の休職、退職者数の推移、並びに防止対策としての職場環境改善について見解を問う。

A 櫻井総務課主幹 メンタルヘルス不調による、休職者数は2人から3人、退職者数は2人から4人であり、再発防止対策や職場環境改善に努めている。

一般質問



2 1

富山県総合防災訓練について
鳥獣被害について



脇坂 章夫 議員

Q 滑川消防署員の訓練内容と講評を問う。

A 川岸消防署長 地震による中型バスを含む多重衝突交通事故で負傷者が15名発生したとの想定で、滑川消防署を含む富山県緊急消防援助隊及び富山県災害派遣医療チーム「富山DMAT」らによる救急・救助・医療の初動連携訓練を実施した。大規模災害時は各機関の連携協力が重要で、今回の総合防災訓練は有事の際の対応訓練として非常に有効であった。

Q 滑川消防団員訓練内容と講評を問う。

A 川岸消防署長 大雨による水害を想定して、水防活動である改良積み土のう工訓練を実施した。6月に夏季消防訓練において専門機関から講師を招き、同工法を基礎から教育を受け、本訓練に対応した。消防団活動も多様化し、火災だけでなく水害にも対応できる知識、技能も身につけ、有意義な訓練だったと考えている。

Q 聴覚障害者の災害時の訓練内容と対応について問う。

A 石川福祉介護課長 県の聴覚障害センターと訓練会場をオンラインでつなぎ、遠隔手話通訳を用い

て、災害時を想定した安否確認や情報交換を行ったほか、指さしで意思疎通を図る手話でコミュニケーションシートや、避難所において手話通訳や筆談などの配慮が必要な方、それらの方の支援者の目印になる手話・ヘルプバンドナの啓発も行った。また、障害のある人への理解を深めるため、講習会を開催したところである。

Q イノシシによる目新しい被害防止対策はあるか。

A 黒川農林課長 恒久柵や電気柵、また市道に鳥獣対策用グレーチングの設置を行っている。さらにイノシシのすみかとなる里山の竹林や雑木林の伐採など、イノシシを寄せつけない環境づくりを地域住民と共に進めている。今後、新たな被害防止対策の情報収集にも努めていきたい。

Q 熊の出没状況について問う。

A 黒川農林課長 6月7日に開地内で小熊の目撃情報があり、また7月21日に有金地内の事業所防犯カメラに映っていた。いずれも現場周辺をパトロールしたが確認できなかった。

その他の質問
・集中豪雨被害について

一般質問



今後の生活支援に関する
方針について
市政事務における適正性の
充実に
大浦 豊 貴 議員



Q 令和2年度生活困窮者自立支援事業では、法改正により拡充された住居確保給付金件数は、7件報告されている。富山県東部自立支援センターが対象者と認め、本市が交付決定する際、再度、状況確認を行うのか。

A 石川福祉介護課長 収入状況、金融資産、減少収入が、住民税非課税額相当プラス家賃を合算した基準と合致しているかという条件について全て審査し決定している。

Q 国交省は、公営住宅管理標準条例の改正において、民法改正による債権関係の規定の見直しや単身高齢者の増加等を踏まえ、公営住宅の入居に際し、保証人を確保することがより一層困難になることが懸念されるところ、保証人の確保を前提とすることから転換すべきとされたが、本市では、いかなる生活状況・諸事情をお持ちだろうと連帯保証人の確保ができないのか、市営住宅には入居できないのか。

A 数岸空家等居住対策課長 市営住宅入居については、所得要件・保証人要件・親族の有無等、条件があり、連帯保証人についても厳格に運用している。

Q 滑川市社会福祉協議会では、LEDとS・I・Mの一体型IoT電球を使用した見守り活動の実験を行ったが、事業化への見解はどうか。

A 石川福祉介護課長 現在、基礎疾患を有した単身高齢者を対象に緊急通報装置を貸与し、これと同様の事業であることから、それぞれのメリット、デメリットを勘案し事業化への可能性を検討する。

Q 地方自治法改正に伴い、議選監査委員の義務づけが緩和された。議会も行政予算に含まれ、議員が監査することは、独立性に欠けるのではないのか。事務の適正性を市民に示す観点からも、監査制度の検討が必要ではないか。

A 伊井監査委員事務局長 第31次地方制度調査会において、監査委員は、独立性、専門性を発揮すべきで、監査委員は専門性のある識見委員に委ね、議選監査委員を置かないことを選択肢に設けるべきと法改正は答申を受けたものである。法改正の趣旨を踏まえ、対応を検討する必要があると考える。

A 上田市長 議選監査委員を置かないことも一つの方法だと思う。議会でも慎重に検討いただきたい。

一般質問



1 災害避難所について
2 除雪について
角川 真人 議員



Q 8月に行われた富山県総合防災訓練で、コロナ禍を踏まえた避難所の開設運営訓練などが実施されたが、間近で見ていると組み立てスミーズな設置を行えるよう、半年ごとなど定期的な訓練を実施するべきではないか。

A 櫻井総務課主幹 昨年度は、全職員を対象とした段ボール間仕切りとベッドの組み立て訓練を行ったほか、各地区での防災訓練でも組み立て訓練を行った。今後も適宜訓練を行い備えていきたい。

Q これまで災害時に避難者が不便を感じないよう備品をかなりそろえてきたが、感染症対策のための備品は今の備蓄で不足はないか。また今準備している備蓄は、どのくらいの期間を想定しているのか。

A 櫻井総務課主幹 現在各避難所に配備しているもので設営し、不足分は備蓄庫や未開設の避難所から転用するなど柔軟に対応したい。初期の想定期間は3日分である。

Q 今年1月の大雪を受け、議会の中で大雪の際のマニユアルの策定を検討と答弁されていた。経過はどうか。

A 北島建設課長 富山県が関係機関に行った意見聴取の結果を反映させた「災害級の大雪時におけるタイムライン」の案を作成し、現在パブリックコメントを実施している。マニユアルの策定は、タイムラインの策定や連携除雪の体制が整った後に検討したい。

Q 滑川市では、豪雪時に高齢者世帯に対する雪下ろし援助を年度で区切って行っている。しかし今本当に求められているのは家への出入りができるようにする除雪ではないか。こうした除雪への援助は考えられないか。

A 石川福祉介護課長 玄関先の除雪等については、隣近所や地域の組織など住民自らが行う地域ぐるみの活動で対応してもらっている。

Q 今は昔と違い、隣近所と話をすることは減っている。手伝わら支援、援助が出るといった形にした方が円滑に助け合えないか。

A 石川福祉介護課長 介護予防と生活支援の推進について協議する協議体の中で、隣近所に支援してもらえない場合等について、今まさに話し合いが行われている。市として支援していきたい。

一般質問



4 3 2 1

9月補正予算案について
教育について
防災について
スポーツ・健康の森公園について

尾崎 照雄 議員



Q PCR検査助成事業に関して、陽性と判断された場合の対応は。

A 結城市民健康センター所長 検査事業を利用する際は、新型コロナウイルス感染症のPCR検査受検申請書兼同意書を作成する予定でいるが、陽性が判明した場合、富山県中部厚生センターへ感染者の発生を届け出ることと同意を得ることとしている。このことにより、検査を受けた医療機関の医師から感染者の発生について届出がなされ、従来の感染者への対応につながることになる。

Q ICT教育について、インターネットの活用など、制限なく使いたいときに使える環境整備が求められてくると考える。校内通信ネットワークの環境整備について問う。

A 椎名学務課長 各学校で、今後ICT機器の活用がさらに進めば、ネットワークの利用需要も高まり、通信環境をさらに充実させることも必要となると考えられることから、各学校の利用状況等も確認しながら今後さらなる環境整備について検討していきたい。

Q 文科省は、校則の見直しを求め

る文書を発出した。性の多様化と校則の見直しに関する見解を問う。

A 伊東教育長 市内中学校では、服装や頭髪等の決まりについて生徒会が中心となつて定期的に見直しを図ったり、自主管理の規則を定めている。性の多様性について今回の見直しにおける議論でも取り上げると言っており、個別配慮に十分注意しながら、学校において進めてもらいたい。

Q 滑川市における気象防災アドバ

イザー活用の検討状況は。

A 櫻井総務課主幹 本市では、主に滑川防災士連絡協議会の防災士に防災啓発活動を実施していただいているが、今後、気象防災アドバイザーの活用について、実施済みの他県の事例等も参考にしながら検討していきたい。

Q スポーツ・健康の森公園の総合案内図には、多目的広場の中はペト入場禁止と書いてあるが、広場に設置してある看板は大変紛らわしいものとなっている。

A 荒俣公園緑地課長 紛らわしい看板については、現地を再確認して、適切な場所への移設を検討したい。

一般質問



4 3 2 1

新型コロナウイルス感染症対策について
キャッシュレス決済促進事業について
コミュニティバス事業について
海浜公園整備事業について

竹原 正人 議員



Q ワクチン接種を希望する全ての市民の方が一日でも早く接種が完了するよう、個別接種、集団接種、職域接種など全ての接種機会を考

A 石坂生活環境課長 65歳以上の高齢者としたのは、8月末現在で（ワクチン）接種率が90%以上と高く、外出等による重症化リスクが軽減されると考えられることから対象者とした。また65歳未満の方については、ワクチン接種率が65歳以上の高齢者の方々と比べて低く、外出等による新型コロナウイルスへの感染及び重症化のリスクが高いものと考えられることから、全ての人を対象に事業を行うことは難しい。

A 網谷産業民生部長 現在、個別接種に加え、平日夕方に実施したイブニング接種や日曜日の集団接種などにより接種機会を増やす対応を行っている。このほか、職域接種、県の大規模接種などの接種機会もあり、接種を希望される市民の皆さんには11月中の接種完了ができるかと考えている。

Q 今回のキャッシュレス決済促進事業について、前回7月の実績を踏まえての事業なのか。

A 長崎商工水産課長 今回のキャッシュレス決済促進事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内飲食店における売上げ回復と、キャッシュレス決済のさらなる普及促進が目的である。

Q コミュニティバスの乗車料金の無料化の65歳という区切りが全く理解できない。いっそのこと全て乗られる方を無料にして、期間も区切って検証したほうがいいのでは

Q 海浜公園整備事業について、バレーキュー施設やオートキャンプ場、さらには富山湾岸サイクリングコースの休憩スポットとして整備予定であるが、誰をターゲットとしているのか。

A 荒俣公園緑地課長 今回の整備により、市内の方のみならずサイクリングコースの利用者や市外の方など、様々な層の方に利用していただくことを想定している。インターネット等を通して公園の周知に努めたいと考えている。

・観光振興について

一般質問



ボランティア活動、

組織について伺う

高橋 久光 議員



Q ボランティア活動、組織についての質問は大変幅広い話ではないかと思う。万が一という場合の滑

川市民の安全、安心にもつながる問題であるが、本市での固定化した日頃のボランティア活動を担当課でどのように把握しているか。

A 石川福祉介護課長

滑川市社会福祉協議会がボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンターを運営している。ボランティア連絡協議会の加入状況については、令和3年5月1日現在で27グループ、715人である。

Q 我が市のボランティア組織の方々の事務的な手当や報酬は基本的に無料だと思うが、活動負担金補助は本市から支出されているか。

A 石川福祉介護課長

ボランティア連絡協議会には活動実費相当分と活動保険の助成を行っている。また、滑川市赤十字奉仕団は、市民の皆さんからご協力いただいた社資を原資とした助成金を受け、活動を行っている。個別団体については活動実費以外の助成は受けず、無償で活動していると認識している。

Q 備えあれば憂いなし、万が一災

害が起きた場合の対策、対応はされているか。

A 石川福祉介護課長

大規模な災害が発生したとき、復興には行政機関及び防災関係機関、事業所、市民の応急活動だけでは対応が十分にできないことが想定されるため、災害救助ボランティアの役割は重要である。災害時には市社会福祉協議会が市と連携して速やかに市災害救助ボランティアセンターを設置することになっており、先日の総合防災訓練の際にも設置訓練を行った。今後も関係機関と連携し、災害ボランティア受入れの際には、その知識、技能が生かされるよう支援に努めてまいりたいと考えている。

害が起きた場合の対策、対応はされているか。



一般質問



1 子どもの預かりと働き方の多様性について
2 コロナ禍の学校対応について
3 農業の未来について

青山 幸生 議員



Q 女性の管理職登用が進む中、女性の働き方について市の見解は。

A 地崎生涯学習課長

アンケート調査によれば、小学生のいる世帯では母親の1日当たりの就労時間が9時間の人が増えている。また朝7時台に家を出る方、夕方6時台から8時台に家に帰る母親が増加している。本市の子ども第一主義による子育て支援施策の充実や男女共同参画の推進により、正規雇用の方が増え、女性の労働時間が伸びているものと考えている。

Q 保育士の給料について市の見解は。また、今後の人材確保についてどのように考えているか。

A 落合子ども課長

職員の経験年数や技能に応じた処遇改善に要する費用の加算を行っている。年々保育ニーズが高まっており、保育現場の負担増加や人員不足の深刻化が懸念されていることは承知している。今後とも職員の処遇改善や職場環境の改善等を支援していく。

Q 本市の認定こども園、保育所、放課後児童クラブの土曜日の預り対応は。

A 落合子ども課長

認定こども園

及び保育所については、土曜日は通常の開所日として全施設が保育を行っている。放課後児童クラブについては土曜日は希望に応じて開所している。土曜日は預けてもいい日なので、保育が必要な家庭が預け控えをすることのないよう努めたい。

Q 今後の児童・生徒にコロナ感染者が多くでた場合、対応は準備できているか。

A 椎名学務課長

文部科学省の衛生管理マニュアルにおいて校舎内の消毒を各学校で徹底している。

学校内で感染が広がっている可能性が高い場合には感染範囲に応じて、保健所等と相談の上、学級単位や学年単位など必要な範囲で臨時休業することが考えられる。

Q 海洋深層水トマトは独特の甘み特徴で一定の効果は出てきている。深層水トマトの次なる戦略は。

A 黒川農林課長

令和2年度の生産量は46tで、直売のほか、スーパーマーケットでの販売や市内の飲食店等に提供している。問い合わせを頂いた方にサンプルを提供し、販路の拡大に努めている。

令和2年度の生産量は46tで、直売のほか、スーパーマーケットでの販売や市内の飲食店等に提供している。問い合わせを頂いた方にサンプルを提供し、販路の拡大に努めている。

新型コロナワクチンの接種率向上について
水田貯留について
公園の整備について
観光振興について



A 結城市民健康センター所長

8
月
に

入り、市内でも新規感染者が多く報告される事態となったことから8月24日の朝刊にチラシを各家庭に配布し、注意喚起を行ったものであり、今後に必要な情報が迅速に届くよう対処してまいりたいと考えている。

豪雨時の洪水被害の軽減に水田貯留、田んぼダムに取り組めないか。

A 北島建設課長 協議会において、雨水の流出抑制対策として水田貯留が協議されており、国、県、関係機関と連携を取り、先進事例を参考に実施について検討したいと考えている。

Q 滑川海浜公園キャンプ場等整備計画案によると整備面積が7千570㎡となっているが、公園利用者を管理する管理棟が計画されていない。今後計画されるのか。

A 荒俣公園緑地課長 管理棟について、現在のところは設置せず従来のまま、受付等は市役所、そのほかにインターネット等の申込みも加え進めていきたい。

Q 利用料金がどのようになるのか

A 荒俣公園緑地課長 利用料金については、既設のバーベキュー施設は無料としており、新しく設置するバーベキュー、キャンプ場についても無料と考えている。

富山湾と能登半島を臨み 富山

見る事のできる施設は、県内でも光彩前のテラス席と思う。足湯の後方の大面積のテラスを利用し、夏場にはビアガーデン、春から秋にかけてオープンカフェなどの営業ができないか。

A 小川 観光課長

については、株式会社ウエーブ滑川において、4人掛、2人掛のテーブル各2セットを設置しており、光彩利用者に限らず、多くの方に利用していただき好評を得ているところである。ビアガーデンなどイベント的な活用ができないか検討していきたい。

公共施設の在り方について
コロナ禍の中で
子育て支援について
教育について



Q オートキャンプ場の使用料は無料と聞いているが、見直しされないのか。

A 荒俣公園緑地課長
今回整備を

行うオートキャンプ場は、より多くの方に気軽に利用してもらおうよう、無料での利用を想定している。入口に管理棟を設置し、係の人を雇えばどうか。

A 荒俣公園緑地課長
係員の設置

は現在考えていない。

Q 今まで入院調整中の感染者の方は自宅療養などしておられないのか。自宅療養の方々に、配食サービスや生活応援品の支給などしないのか。

A 結城市民健康センター所長

感染拡大の時期には自宅療養の方は存在されていた。県が家庭での療養生活の中で一番重要な食生活の維持が可能かどうか確認しており、困難な方には5日分の食料を提供する制度が開始されている。

市では自宅療養者への配食サービ

ス等については現在考えていない。今年もコロナ禍の中、出産は大変な状況になっている。行政の公平性の観点から昨年同様、5万

円の商品券を支給する事は考えられないか。

A 落合子ども課長

産されるお母さん方の不安な気持ち
は察しても余りあるが、今年度
出生された新生児への商品券支給
については、現時点では予定して
いない。

Q 児童・生徒のタブレット支給は

完了した。夏休みに家庭に持ち帰った学校・学年、そうでない学校・学年があったが、滑川市の学校間でのばらつきは何か原因か。

かつた学校・学年については、

童・生徒の習熟度や学校での活用状況を考慮して判断したと聞いている。今後は各学校が、必要に応じてタブレット端末の持ち帰りを
行う予定である。

Q 今後、教科書に沿ったソフトの

準備はどうか。市として共通のソフトで学習することに意義がある
と考えるが。

A 椎名学務課長 この後、ICT
教育アドバイザーと相談しながら
研究していく。

と考えるが。

ICT
しながら

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

意見書提出要請・要望書

件名及び提出者 処理結果

- 意見書提出要請（2件）
 - 1 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書
.....議会運営委員会不一致（議員提出議案第6号へ）
農民運動富山県連合会 代表 林 新義
 - 2 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
.....議会運営委員会一致（議員提出議案第8号へ）
全国市議会議長会 会長 清水 富雄
- 要望書（3件）
 - ・ 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
..... 全議員へ参考配布
「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従
全国青年司法書士協議会 会長 阿部 健太郎
 - ・ 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること..... 全議員へ参考配布
沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」 代表 具志堅 隆松
 - ・ 超高齢社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望 全議員へ参考配布
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会令和三年度定時総会
公益社団法人滑川市シルバー人材センター

議決結果

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第41号	工事請負契約の締結について（第2回臨時会）	産	原案可決
議案第42号	令和3年度滑川市一般会計補正予算（第3号）	総産	原案可決
議案第43号	令和3年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第44号	令和3年度滑川市水道事業会計補正予算（第1号）	産	原案可決
議案第45号	滑川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第46号	滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決

（次ページへ続く）

(前ページ続き)

議案番号	議 案 内 容 等	委員会	採決結果
議案第47号	滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第48号	令和２年度滑川市一般会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第49号	令和２年度滑川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第50号	令和２年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第51号	令和２年度滑川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第52号	令和２年度滑川市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決特	原案認定
議案第53号	令和２年度滑川市水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第54号	令和２年度滑川市下水道事業会計決算認定について	決特	原案認定
議案第55号	令和２年度滑川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第56号	令和２年度滑川市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決特	原案可決
議案第57号	市道の路線認定及び廃止について	産	原案可決
議案第58号	滑川市教育委員会の教育長の任命について		原案同意
議案第59号	滑川市教育委員会の委員の任命について		原案同意
議案第60号	滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について		原案同意
議案第61号	人権擁護委員候補者の推薦について		異議なしと意見
議案第62号	人権擁護委員候補者の推薦について		異議なしと意見
議員提出議案第６号	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書		原案否決
議員提出議案第７号	米の需給と価格の安定を求める意見書		原案可決
議員提出議案第８号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書		原案可決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、決特：決算特別委員会

賛否一覧表

議案 議員名 会派	会派自民				共産党 議員団		無会派						
	原明	岩城晶巳	中川勲	高橋久光	角川真人	古沢利之	大浦豊貴	脇坂章夫	青山幸生	竹原正人	尾崎照雄	浦田竹昭	開田晃江
議案第41号 (第2回臨時会)	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について													
議案第42号から 議案第62号	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第6号	●	/	●	●	○	○	●	●	●	●	●	退	●
コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書													
議員提出議案第7号	○	/	○	○	○	○	●	○	○	○	○	退	○
米の需給と価格の安定を求める意見書													
議員提出議案第8号	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書													

※賛成者は○、反対者は●、退席は退としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。



左記QRコードから
YouTube滑川市議会
チャンネルにアクセス
できます。

12月定例会の日程等については
決まり次第ホームページで
お知らせします。



【議会報編集委員】
角川真人委員長
脇坂章夫副委員長
大浦豊貴委員
青山幸生委員
浦田竹昭委員
中川勲委員

議会報編集委員会から
この号がこのメンバーでの最後の
議会だよりとなります。2年間
ありがとうございました。
議会だよりのイメージを変えよ
うと、滑川高校生にタイトルロゴ
の作成をお願いして採用してみま
した。いかがでしたでしょうか。
これまで議会だよりの作成にご
協力いただいた方々、読んでいた
だいた市民の皆さんに心から御礼
申し上げます。
電話 475-2111
(内線371)